

## 令和2年国勢調査 就業状態等基本集計結果 概要

○労働力人口 総数：359,468人(△10,114人、△2.7%)

男性：189,071人(△7,587人、△3.9%)

女性：170,397人(△2,527人、△1.5%)

○人口減少に伴い労働力人口が減少している中、前回と比べて労働力率は上昇

○就業率は、前回と比べて上昇し、一方で完全失業率は低下

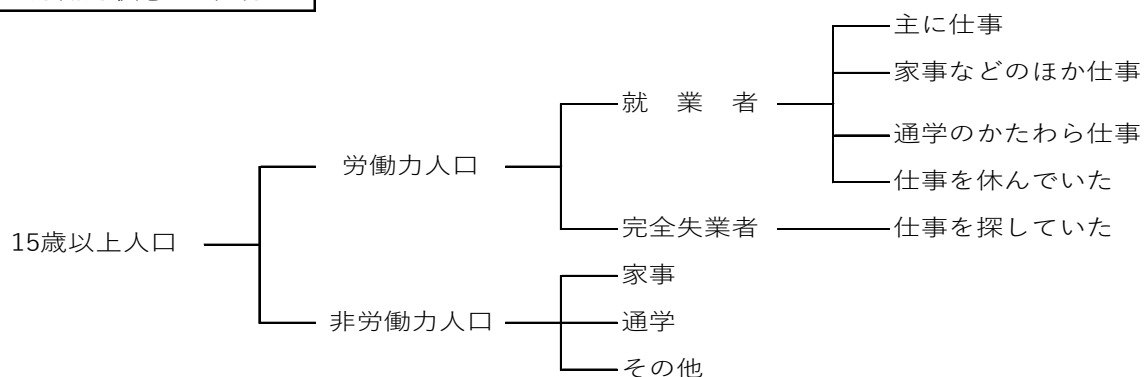
○就業者の主な産業別構成 ①医療、福祉18.4% ②卸売業、小売業15.8% ③農業、林業9.1%

**結果の概要** ( ) 内は、前回(H27)からの増減 ※生産年齢人口(15歳～64歳)

・ 労働力人口	359,468人	(▲2.7%)	うち生産年齢人口	291,782人	(▲6.2%)
・ 労働力率	59.5%	(+1.6 ㊦)	うち生産年齢人口	80.6%	(+2.9 ㊦)
・ 就業者	344,704人	(▲1.9%)	うち生産年齢人口	278,934人	(▲5.3%)
・ 就業率	57.1%	(+2.0 ㊦)	うち生産年齢人口	77.0%	(+3.5 ㊦)
・ 完全失業者	14,764人	(▲19.1%)	うち生産年齢人口	12,848人	(▲22.3%)
・ 完全失業率	4.1%	(▲0.8 ㊦)	うち生産年齢人口	4.4%	(▲0.9 ㊦)

就業状態等基本集計・・・R2国勢調査における人口の労働力状態及び産業・職業大分類別構成に関する結果を集計したもの

労働力状態\*の区分



$$\text{労働力率 (\%)} = \frac{\text{労働力人口}}{\text{15歳以上人口}} \times 100$$

$$\text{就業率 (\%)} = \frac{\text{就業者数}}{\text{15歳以上人口}} \times 100$$

$$\text{完全失業率 (\%)} = \frac{\text{完全失業者数}}{\text{労働力人口}} \times 100$$

※ 「労働力状態」は、15歳以上の人について、調査の9月24日から30日までの1週間に「仕事をしたかどうかの別」により、区分したものです。

## ○ 結果のポイント

### (労働力率)

- ・ 労働力率は1.6ポイント上昇 (H27 58.0% → R2 59.5%)
- ・ うち生産年齢人口の労働力率は2.9ポイント上昇 (H27 77.6% → R2 80.6%)
- ・ 労働力率の上昇は、平成7年調査以来
- ・ R2 全国：62.9% 高知県：59.5%

### (就業率)

- ・ 就業率は2.0ポイント上昇 (H27 55.1% → R2 57.1%)
- ・ うち生産年齢人口の就業率は3.5ポイント上昇 (H27 73.5% → R2 77.0%)
- ・ 男女ともに全年齢階級で上回った。
- ・ 全国と比べると男性は全年齢階級で下回ったものの、女性は25歳以上の全ての階級で上回った。
- ・ R2 全国：60.5% 高知県：57.1%

### (完全失業率)

- ・ 完全失業率は0.8ポイント低下 (H27 4.9% → R2 4.1%)
- ・ うち生産年齢人口は0.9ポイント低下 (H27 5.3% → R2 4.4%)
- ・ 年齢階級別にみると、女性の50歳以上の階級を除く全ての階級及び男性の全ての階級で前回結果を下回っていた。
- ・ R2 全国：3.9% 高知県：4.1%

### (産業別構成)

- ・ 産業大分類別の構成比では、「医療、福祉」(18.4%)が最も大きく、次いで「卸売業、小売業」(15.8%)
- ・ 全国の構成比と比べると、「農業、林業」(+6.1 ㊦) や「医療、福祉」(+5.0 ㊦) で、全国を大きく上回り、一方で「製造業」(△7.5 ㊦) では大きく下回った。
- ・ 構成比上位3産業  

(全国) 1位：製造業 (15.9%)	(高知県) 1位：医療、福祉 (18.4%)
2位：卸売業、小売業 (15.8%)	2位：卸売業、小売業 (15.8%)
3位：医療、福祉 (13.5%)	3位：農業、林業 (9.1%)

## ○ 15歳以上人口と労働力状態 (3区分：就業者、完全失業者、非労働力人口等) の推移

